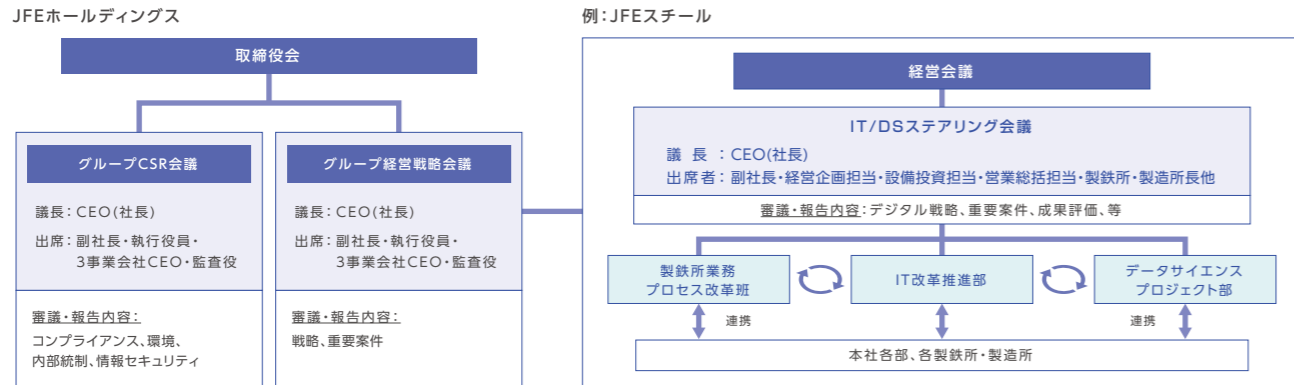


デジタル・ガバナンス

▶ JFEグループにおけるデジタル・ガバナンスの枠組み

コーポレートガバナンスの枠組みにグループのデジタル・ガバナンス機構を組み込み



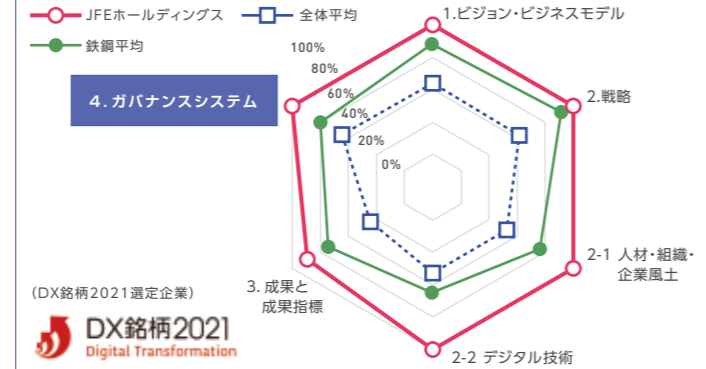
▶ DX認定制度(経済産業省)における認定基準と当社の状況

デジタル・ガバナンスに基づいた、経営主導の継続的な取り組みが評価され、DX認定事業者に認定。
7年連続でDX(攻めのIT)銘柄に選定

DX認定事業者の認定基準項目

1. 経営ビジョン・ビジネスモデル
2. 戦略
 - 2-1. 戦略実現のための組織・制度等
 - 2-2. 戦略実現のためのデジタル技術の活用
3. 成果と重要な成果指標
4. ガバナンスシステム

DX銘柄評価委員会による当社のデジタル・ガバナンス評価



セキュリティ管理

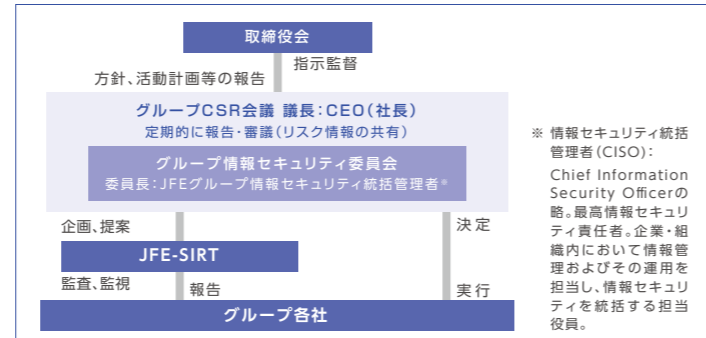
▶ JFEグループのセキュリティ管理体制

「サイバーセキュリティ経営宣言」のもと、深刻化・巧妙化するサイバー脅威に対し、JFE-SIRTを中心とした経営主導によるサイバーセキュリティ対策の強化を推進していく

サイバーセキュリティ経営宣言

1. 経営課題としての認識
2. 経営方針の策定と意思表明
3. 社内外体制の構築・対策の実施
4. 対策を講じた製品・システムやサービスの社会への普及
5. 安心・安全なエコシステムの構築への貢献

JFEグループ情報セキュリティガバナンス体制

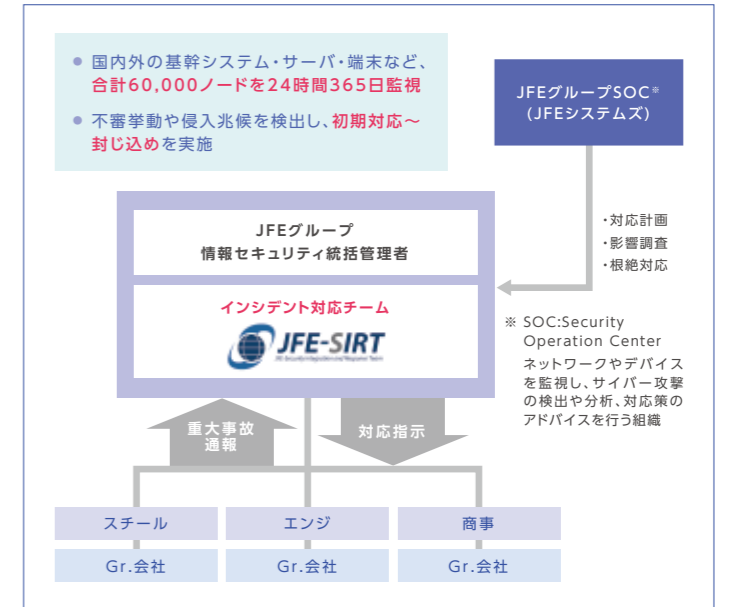


▶ サイバーセキュリティ監視の取り組み



※1 JFE-SIRT: CSIRT(※2)として、インシデント対応だけでなく、グループ共通施策の企画・提案・推進、グループ会社監査、セキュリティポリシーの見直しなどを担っています。
※2 CSIRT: Computer Security Incident Response Teamの略。組織内部で発生する、コンピュータセキュリティに係るインシデントに対処するための組織の一般名称。

システム監視の概要



JFE-SIRTチームメッセージ

2021年もサイバー攻撃・侵害による被害を伝える報道が相次ぎました。社会・経済活動へ影響を及ぼしたパイプラインの操業停止に至った海外での事案のほか、国内でも多くの企業で業務が停止する事案が発生しました。
今や通信ネットワーク、特にインターネットは社会・経済活動において欠かせないツール、インフラですが、同時に隙あらば情報を窃取し、社会を混乱に陥れようという目的を持ち武器を磨いている組織のすみかでもあります。
我々はそうした危険と背中合わせの状態にあることを認識し、DXとサイバーセキュリティへの取り組みを両輪である、と位置づけて「人」「組織」「技術」の強化に取り組んでまいります。



JFE-SIRT チーム長 酒田 健

さらなる取り組みの強化

▶ 今後の取り組み

企業理念 JFEグループは、常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

- JFEグループは、DXを経営上の重要課題に位置づけ、積極的に推進する
- セキュリティ対策を、DXの最優先事項と位置づけ、リソースを重点的に配分する
- これらの取り組みを、今後も各種レポート・発表会等で積極的に開示していく

各事業会社の取り組みやグループ全体のセキュリティ対策に加え、今後グループ横断の検討テーマを具現化する

検討テーマ案	詳細
● CO ₂ 排出量マネジメントシステムの構築	・ 迅速/効率的な排出量管理 ・ データ分析による排出量低減対策
● 物流サプライチェーンのDX	・ 製造/販売/物流情報の一貫連携 ・ CS向上/効率化、物流費やCO ₂ 削減